

房総里山芸術祭

ICHIHARA ART×MIX 2020+

新型コロナウイルス感染症対策の指針

策定 2020年12月18日

一部改正 2021年9月28日

いちはらアート×ミックス実行委員会

# 目次

1. 指針の作成にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
  - (1) 趣旨
  - (2) 本指針の位置づけ
  
2. 感染症対策に関する基本的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  
3. フェーズごとの感染症対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - (1) フェーズ 1：会期前
  - (2) フェーズ 2：会期中

# 1.指針の作成にあたって

## (1) 趣旨

新型コロナウイルス感染症の影響により、日本中で様々なイベントや芸術祭が中止を余儀なくされる中、本市は、提唱される「新しい生活様式」を遵守したうえで社会経済活動や文化芸術活動の灯を消すことなく、人々の生活と心の豊かさを守るため、「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020+」（以下、「A×M2020+」という）を開催します。

開催にあたっては、3密（密集・密閉・密接）の防止、マスクの着用や手洗い、消毒の徹底、検温や体調チェックシートを導入した体調管理など感染症対策を徹底します。また、会場においては入場者数や換気回数の管理を行い、来場者が安心して作品を鑑賞できる環境を整えます。これらハード面での取り組みに加えて、いちはらアート×ミックスに関わる全ての人が「新しい生活様式」を実践することにより、コロナ禍においてもその歩みを止めることなく、前へと進む「新たな芸術祭」の姿を確立します。

これらの対策を完全かつ確実に達成するために、感染症対策に関する基本事項や、会期前・会期中等フェーズごとの対策を定めるために、本指針を策定します。

## (2) 本指針の位置づけ

本指針は、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和2年3月28日〔令和3年9月28日変更〕新型コロナウイルス感染症対策本部決定）」及び文化芸術関連の業界団体、国県等から示されたガイドライン等を踏まえ、A×M2020+の開催にあたり必要と考えられる対策を整理したものです。

本指針では、新型コロナウイルス感染症の感染症対策に関する基本的事項や、会期前・会期中等フェーズごとの基本的な考え方等を示し、これに基づき作品展示会場やインフォメーションセンターごとに個別具体的に「会場運営マニュアル」を作成することで、徹底した感染症対策に資するものとしします。

なお、本指針の内容は、今後の対処方針の見直しや、専門家会議の知見等を踏まえ、必要に応じて適宜改正を行います。





## 2.感染症対策に関する基本的事項

A×M2020+の開催にあたっては、以下の7つの感染症対策に関する基本的事項に基づき、徹底した対策を行います。



### 検温及び健康状態の確認の徹底

A×M2020+に関わる全ての関係者、来場者の検温及び健康状態の確認を実施します。



### 3密（密集・密閉・密接）の防止・身体的距離の確保の徹底

会場入場制限など、作品展示会場等における3密の防止、身体的距離の確保を徹底します。



### 手洗い・消毒の徹底

来場者や運営スタッフ等の手洗い・消毒及び、作品展示会場等の定期的な消毒を徹底します。



### マスクの着用の徹底

A×M2020+に関わる全ての関係者、来場者のマスクの着用を徹底します。



### 換気の徹底

屋内の作品展示会場等では、常時開放を基本としますが、作品の状況等により困難な場合は、定期的な換気を徹底します。



### 来場者への事前周知の徹底

新しい生活様式の実践や、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の活用など、随時必要な情報を発信します。



### 来場者の行動履歴の把握

効果検証（鑑賞パスポートと来場者の紐付けによる動態調査）と連動し、来場者の行動履歴を把握します。

# 3.フェーズごとの感染症対策

## (1) フェーズ1：会期前

### ① 作品制作活動等

アーティストが作品制作を実施する場合、菜の花プレーヤーズ・市民等が作品制作等に参加する際には、以下の感染症対策に基づき、徹底した対策を行います。



#### 検温及び健康状態の確認の徹底

作品制作等に参加する際は、検温及び健康チェックシートにより健康状態を報告することとします。発熱（37.5℃以上）や風邪の症状等がある場合は、当該作業への参加をお断りすることとします。



#### 3密（密集・密閉・密接）の防止・身体的距離の確保の徹底

屋内においては、収容人員の50%以下の配置とするとともに、参加者同士の間隔をできるだけ2m（最低1m）を確保します。

屋外においては、参加者同士の間隔をできるだけ2m（最低1m）を確保します。



#### 手洗い・消毒の徹底

作品制作等に参加する際は、定期的な手洗い・消毒を徹底することとします。



#### マスクの着用の徹底

作品制作等に参加する際は、マスクの着用を徹底することとします。



#### 換気の徹底

屋内においては、原則として常時外気を取り入れている状態で作業することとします。作業内容等により、常時換気が困難な場合は、30分ごとに5分程度の換気を行うこととします。



#### その他

作品制作等への参加者のリストを作成し、保管します。

また、新しい生活様式の実践や、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の活用など、随時必要な情報を発信します。

## ① 会場運営マニュアル等の作成

A×M2020+の会期中の作品展示会場等の運営にあたっては、検温・健康状態の確認や、新たな生活様式の実践など、来場者及び運営スタッフを守る事項とともに、屋内施設における収容人員等を踏まえた入場制限や換気など、各施設の特性に対応した必要な事項について、各会場別に会場運営マニュアル等を作成し、更に地元団体等と連携する会場においてはこれを共有するなど、完全かつ徹底した感染症対策を行います。

## ② 来場者対応に関する事項



### 会場における検温及び健康状態の確認

来場者が最初に訪れた作品展示会場等では、検温及び健康状態の確認を行います。検温については、運営スタッフを配置する全ての作品展示会場等で実施します。

発熱（37.5℃以上）や風邪の症状等がある場合は、入場をお断りさせていただきます。



### 健康状態確認済みの明示

検温及び健康状態に問題のない来場者には、確認済の目印としてリストバンドを渡し、以降の作品展示会場等を訪れる際、見える位置に着用していただくこととします。



### 来場者の行動履歴の把握

来場者が記入した健康チェックシートに、パスポートの情報を転記し、効果検証と連動した行動履歴の把握を行います。



### 3密（密集・密閉・密接）の防止・身体的距離の確保の徹底

屋内においては、混雑時には入場制限を行うなど、収容人員の50%以下の入場とするとともに、来場者同士の間隔をできるだけ2m（最低1m）を確保します。ただし、間隔が取れない場合は、フェイスシールドの装着などの代替手段を取ることで感染防止を図ります。

屋外においては、来場者同士の間隔をできるだけ2m（最低1m）を確保します。



### マスクの着用・消毒の徹底

来場者にマスクの着用と手指消毒を徹底いただきます。マスクをお持ちでない来場者には、予備のマスクを有料配付します。

### ③ 運営スタッフ（職員・菜の花プレイヤーズ・市民等）に関する事項



#### 検温及び健康状態の確認の徹底

会場運営に従事する際は、検温及び健康チェックシートにより健康状態を報告することとします。

発熱（37.5℃以上）や風邪の症状等がある場合は、当該業務への従事をお断りすることとします。



#### 3密（密集・密閉・密接）の防止・身体的距離の確保の徹底

会場運営に従事する際は、従事者同士及び来場者との間隔をできるだけ2m（最低1m）を確保することとします。



#### 手洗い・消毒の徹底

会場運営に従事する際は、定期的な手洗い・消毒を徹底することとします。



#### マスクの着用の徹底

会場運営に従事する際は、マスクの着用を徹底することとします。



#### 来場者等との直接的な接触の回避

金銭の授受やグッズの販売等に従事する際には、直接手が触れないように留意して対応することとします。





## ④ 会場の運営に関する事項



### 定員数の設定

屋内会場においては、予め定員数を定め、混雑時には入場制限等を行います。



### 換気の徹底

屋内会場においては、原則として常時外気を取り入れている状態で開場することとします。作品内容等により、常時換気が困難な場合は、30分ごとに5分程度の換気を行うこととします。



### 飛沫防止対策の徹底

受付会場へのビニールカーテンの設置やフェイスシールドの配布等により、飛沫防止対策を徹底します。



### 消毒の徹底

来場者が触れる部分を定期的に消毒します。ゴミ袋等を処理する際は、手袋を着用するなど直接的な接触を避けることとします。

